

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立鯉江小学校の結果

～分析から見てきた成果・課題と今後の取組について～

区 名	城東区
学 校 名	大阪市立鯉江小学校
学 校 長 名	井上 伸一

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和8年4月に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・ 国語
- ・ 算数

(2) 質問調査

- ・ 児童に対する調査
- ・ 学校に対する調査

3 調査の対象

- ・ 国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・ 大阪市立鯉江小学校では、第6学年 88名

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立鯉江小学校の結果概要

本校の平均正答率は、国語61.0%、算数56.0%であり、国語・算数ともに大阪市平均と同程度または上回る結果となった。全国平均との比較では同程度の結果となった。特に国語では、話すこと・聞くこと、書くこと、読むことの領域において、大阪市・全国平均とともに上回り、良好な成果が見られた。算数では領域によって差が見られ、図形や測定、データ活用に課題が認められる。また、平均無解答率は国語1.9%、算数1.7%であり、全国平均（国語3.4%、算数3.2%）を大きく下回っていることから、児童が最後まで粘り強く問題に取り組む姿勢がうかがえる。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】内容別正答率ではA話すこと・聞くこと、B書くこと、C読むことの全項目において大阪市・全国平均を上回っており、一定の学力の定着があると考えられる。但し、（1）言葉の特徴や使い方に関する事項や（2）情報の扱い方に関する事項では、大阪市・全国平均を下回るものも見られた。設問毎の正答率では、「比喻や反復などの表現の工夫に気付くことができるかどうか」の問いに対して、全国平均から6.6ポイントの乖離があり、読書時間にも関連していると考えられる。また、情報と情報を関連付ける問題の正答率も大阪市・全国平均を下回り、課題のひとつと考えられる。

【算数】A数と計算領域においては大阪市・全国平均を上回っており、昨年までの算数科の校内研究で、朝の学習時間に問題を解く時間を設けていた一定の成果があったと考えられる。しかし、B図形、C測定・変化と関係、Dデータの活用の領域においては、大阪市・全国平均を下回っており、課題となる分野が複数に渡ることが認められる。特に、Dデータの活用においては正答率が50%を下回り、「情報をどう活かすか」が課題である。

質問調査より

将来についての質問や幸福感についての質問においては、肯定的な回答が全国平均を上回り、児童の生活の基盤となる精神面が安定しているのことがうかがえる。一方で、「自分と違う意見について楽しいと感じるか」の質問では、否定的回答が約4割をしめている。ICTを利用して調べることは好きだが、知見を広げたり、解決方法を考えたり、多角的に物事をとらえたりする活動などの質問については、否定的な回答が目立った。読書をすることや図書館の利用について、約半数の児童が否定的な回答をしており、読書離れや図書館離れの現状が顕著に現れている。

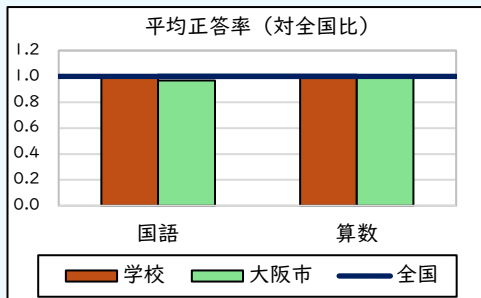
今後の取組（アクションプラン）

学校の取り組みとして読書週間を行う。また、大阪市立中央図書館の読書手帳を活用し、読書量を目に見える形にする。区の図書館や国際図書館からたくさんの本を貸し出してもらうなど、読書の習慣をつける取り組みを行っていく。国語科・算数科で見られた「情報を関連づける・データを活用する」課題に対しては、今年度の研究テーマ「探究的な学習」において、国語科や算数科だけでなく、社会科などの他教科でも、資料を読み取り、自分の考えをまとめ・ふりかえる学習を取り入れ、スクールアドバイザーによる指導を受けつつ、授業改善を行っていく。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要

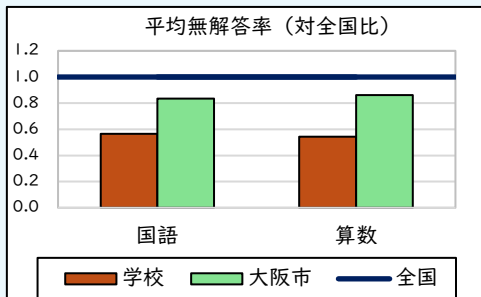
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	61	56
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



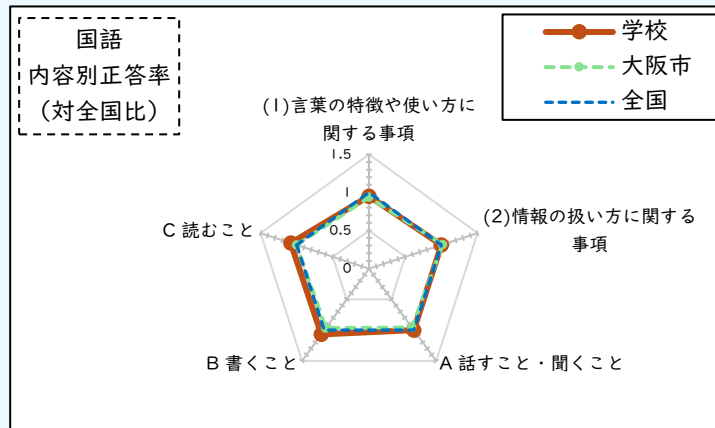
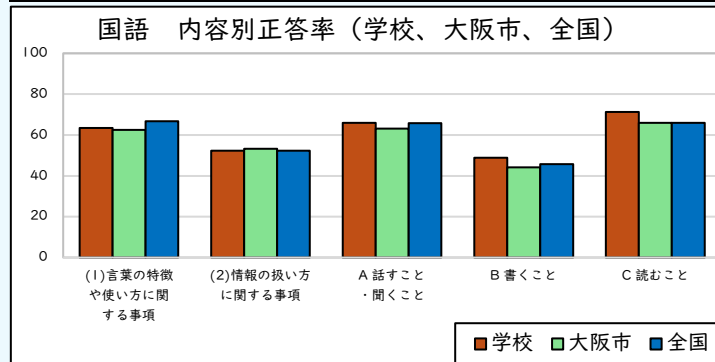
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	1.9	1.7
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



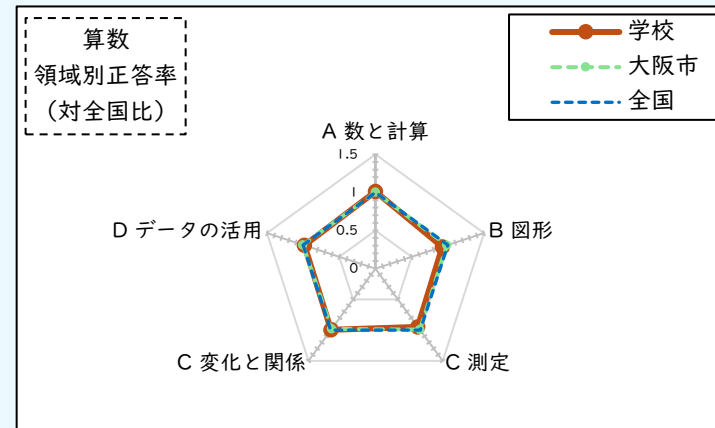
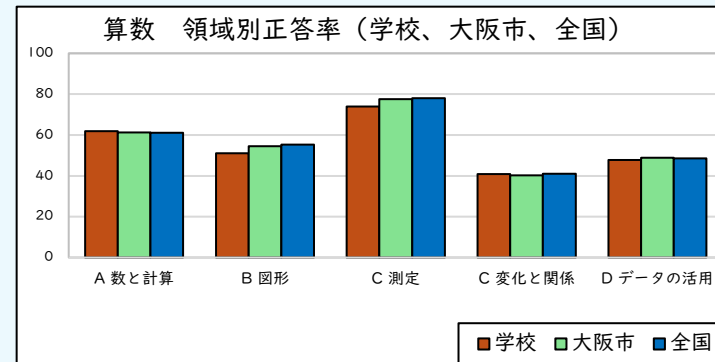
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	4	63.5	62.5	66.8
(2)情報の扱い方に 関する事項	2	52.3	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化 に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	65.9	63.1	65.8
B 書くこと	2	48.9	44.2	45.7
C 読むこと	2	71.3	66.0	65.9



【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	61.8	61.2	61.1
B 図形	4	51.1	54.5	55.3
C 測定	1	73.9	77.5	78.1
C 変化と関係	3	40.9	40.3	41.1
D データの活用	4	47.7	48.8	48.6



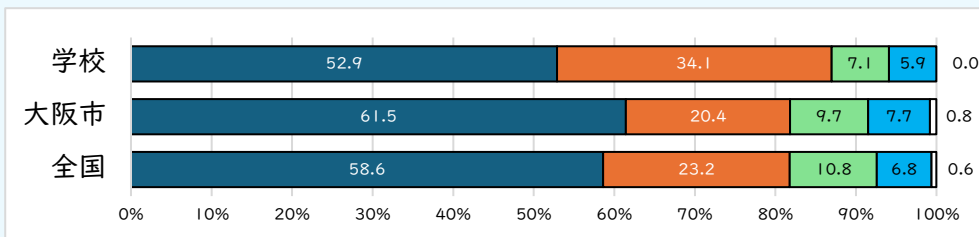
令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号 質問事項

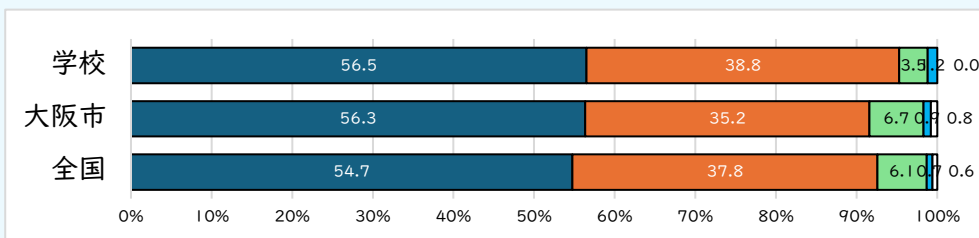
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(10) 将来の夢や目標を持っていますか



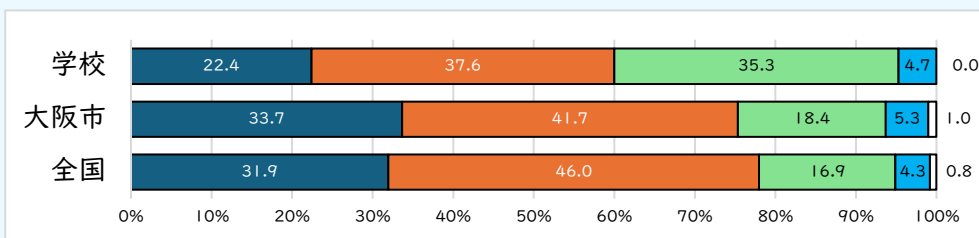
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(21) 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか



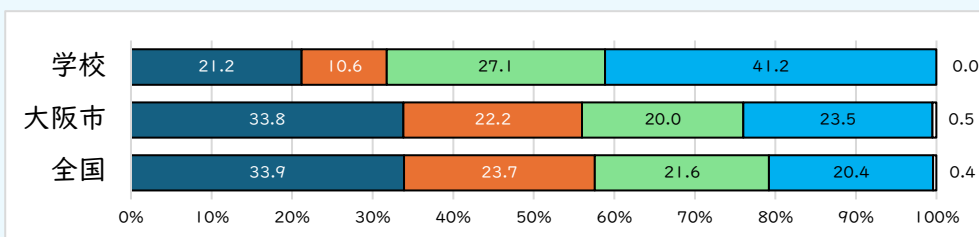
1 よくある
2 ときどきある
3 あまりない
4 全くない

(16) 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか



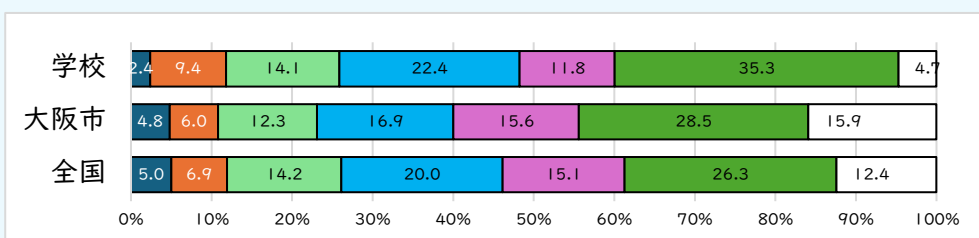
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(61) 算数の勉強は好きですか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(26) 学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）



1 2時間以上
2 1時間以上、2時間より少ない
3 30分以上、1時間より少ない
4 10分以上、30分より少ない
5 10分より少ない
6 全くしない

令和8年度全国学力・学習状況調査 学校質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

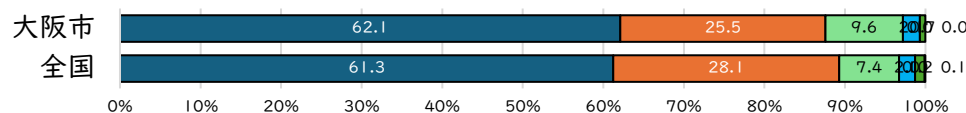
質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(15)

前年度に、教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか

【学校の回答】 3 学期に数回程度行った

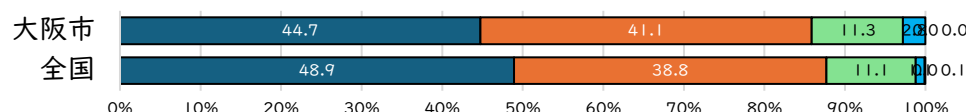


- 1 週に1回程度、または、それ以上行った
- 2 月に数回程度行った
- 3 学期に数回程度行った
- 4 年に数回程度行った
- 5 行わなかった
- 6 特に問題を抱えていなかった

(38)

調査対象学年の児童に対して、前年度に、本やインターネット、図書館資料などを活用した授業を計画的に行いましたか

【学校の回答】 3 学期に数回程度行った

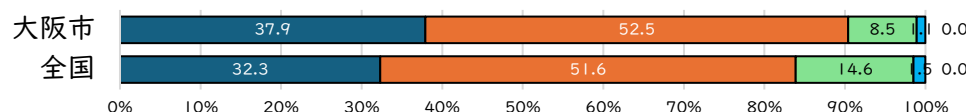


- 1 週1回程度、または、それ以上行った
- 2 月数回程度行った
- 3 学期に数回程度行った
- 4 年数回程度行った
- 5 行わなかった

(8)

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

【学校の回答】 1 そう思う

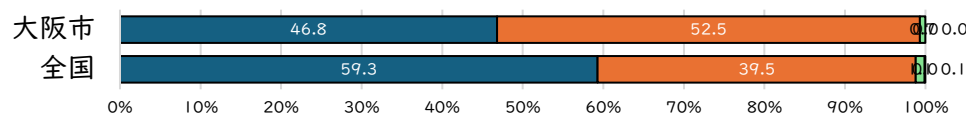


- 1 そう思う
- 2 どちらかといえば、そう思う
- 3 どちらかといえば、そう思わない
- 4 そう思わない

(11)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組を行いましたか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、行った

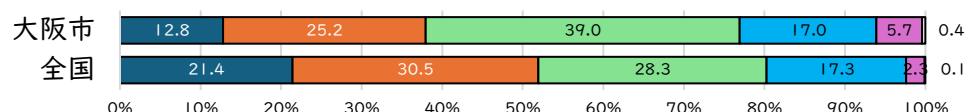


- 1 よく行った
- 2 どちらかといえば、行った
- 3 あまり行わなかった
- 4 全く行わなかった

(62)

調査対象学年の児童が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか

【学校の回答】 3 週1回以上



- 1 ほぼ毎日
- 2 週3回以上
- 3 週1回以上
- 4 月1回以上
- 5 月1回未満